

日本劇作家協会 2023年度(令和5年度) 事業計画

1. 育成、コンクール、セミナー
 - ①第29回劇作家協会新人戯曲賞
6月1日～7月3日 作品公募
7月～11月 一次審査、二次審査
11月中旬 最終審査会(非公開)、受賞作発表
1月 受賞作と最終候補作掲載の「優秀新人戯曲集2024」刊行
 - ②戯曲セミナー
対面講座(於 座・高円寺)+オンライン講座の形で秋に開催予定
 - ③長編戯曲改稿講座(文化庁事業)
10月～12月にオンライン講座を行い、2月にリーディング発表会を開催予定(関西支部担当)
 - ④出張戯曲講座(文化庁事業)
夏から秋にかけて2カ所で開催予定(候補地:長野県、愛媛県)
 - ⑤公開講座(文化庁事業)
8月19日、20日(於 座・高円寺)
ハラスメント対策をテーマにしたフォーラムシアター(演劇で問題を共有して討論する手法)などを予定
 - ⑥短編戯曲コンクール(文化庁事業)
2月3日、4日(於 長久手市文化の家)
「劇王」として実施(東海支部担当)
2. 普及、ワークショップ、シンポジウム
 - ①ドラマリーディングのワークショップと発表会(文化庁事業)
 - ◎東京
1)月いちリーディング:7月、9月、10月、1月、2月にリーディングのワークショップを開催
7月、10月、2月は座・高円寺で、9月と1月はオンラインで開催予定
2)ドラマリーディング発表会(リーディングフェスタ):12月17日(於 座・高円寺)
 - ◎大阪
1)月いちリーディング:6月、10月、2月にリーディングのワークショップを開催(ドーンセンター予定)
2)ドラマリーディング発表会(関西スペシャル 劇作バトル!):1月27日に開催(ドーンセンター予定)
 - ◎九州
1)月いちリーディング:9月(福岡市)、2月(大分市)にリーディングのワークショップを開催
 - ◎東北
1)月いちリーディング:11月にリーディングのワークショップを開催(盛岡市を予定)
3. 出版
 - ①戯曲英訳出版(文化庁委託事業)
現代日本戯曲を英訳出版して海外に紹介する(戯曲集の第9巻を3月に刊行)
 - ②戯曲オンデマンド出版の販売と調査、検討を継続して行う
 - ③会報の発行:従来型の会報『ト書き』を発行する
4. コロナ対策
 - ①緊急事態舞台芸術ネットワークなどの外部団体への協力を継続
5. 調査、資料収集、アーカイブ
 - ①座・高円寺の演劇資料室(アーカイブ)への協力を継続
 - ②戯曲デジタルアーカイブの運営を継続
 - ③戯曲デジタルアーカイブ掲載作品の追加、ならびに、システム新機能追加事業を実施予定(EPAD 委託事業)
6. 協力、パートナーシップ
 - ①鶴屋南北戯曲賞への協力継続
 - ②日本劇作家協会プログラムなど、座・高円寺の企画・運営についての助言、サポートの継続
 - ③障がい者の観劇支援活動を行っているシアター・アクセシビリティ・ネットワーク(TA-net)への協力を継続
7. 国際交流
 - ①各国の劇作家ならびに諸団体との交流継続
 - ②日韓演劇交流センターへの参加を継続
8. 著作権
 - ①戯曲の著作権全般についての調査、対応を継続
9. ハラスメント
 - ①「ハラスメント防止ガイドライン」「ハラスメント防止講習」に基づき対応する
 - ②ハラスメント講習実施の拡大をはかる
10. 支部
 - ①北海道、東北、東海、関西、中国、九州、沖縄の支部ごとに事業を計画、実施
11. その他
 - ①文化庁新進芸術家海外留学制度研修員募集への対応を継続
 - ②評議員選挙の実施